

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に対し、ケアマネジャーを中心に電話や面会時等に家族へ細かな報告をし、記録に残し、また主治医とも連携を図り、緊急時の対応を個々に把握する必要がある。	施設での様子を家族、主治医に細かく伝え、職員を含め全員が同じ方向性でケアに当たれるよう連携を密にしていく	今まで以上に状態観察、細かな事まで記録の残し、変化を見落とさない様にしていく。またその内容を家族、主治医へ誰もが連絡出来るようにする。ケアの急変などミーティング時に各職員が把握できるように話し合う	12ヶ月
2	10	利用者・家族の率直な意見を聞ける場が少ない（遠慮してしまっている部分がないか？）	意見を言いやすいような雰囲気作り、用紙の工夫など色々取り組んでみる	家族へは意見箱で、利用者には定期的にアンケートを実施し、個々の思いを少しずつ叶えていけるようにする。	12ヶ月
3	2	地域行事への積極的参加、ボランティアの受け入れ等行っているが、一番身近な近隣の方との交流が散歩時の挨拶程度で、グループホームとしてまだまだ地域に根付いていない。	グループホームがこういった施設なのか理解してもらい、互いに困った時など助け合える関係を築く。	日常から開放的で足を運びやすい雰囲気作りに努めたり、施設の行事への参加を働きかける。迷惑にならぬ程度に近隣の行事やその他掃除など進んで協力してみる	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。